

～訪問介護と多職種連携の 深化をめざして～

東淀川区在宅医療・介護連携相談支援室の取組み

中畠ひとみ

区の概況

令和5年10月1日現在

- ・人口：176,134人
- ・65歳以上人口 43,934人
- ・高齢化率 24.9%



医療と介護

医療：病院数4カ所（急性期1カ所）

診療所 139カ所（在宅療養支援診療所25カ所）

歯科診療所 83カ所 調剤薬局数 81カ所

訪問看護ステーション 44カ所

介護：地域包括支援センター 4カ所 ブランチ5カ所

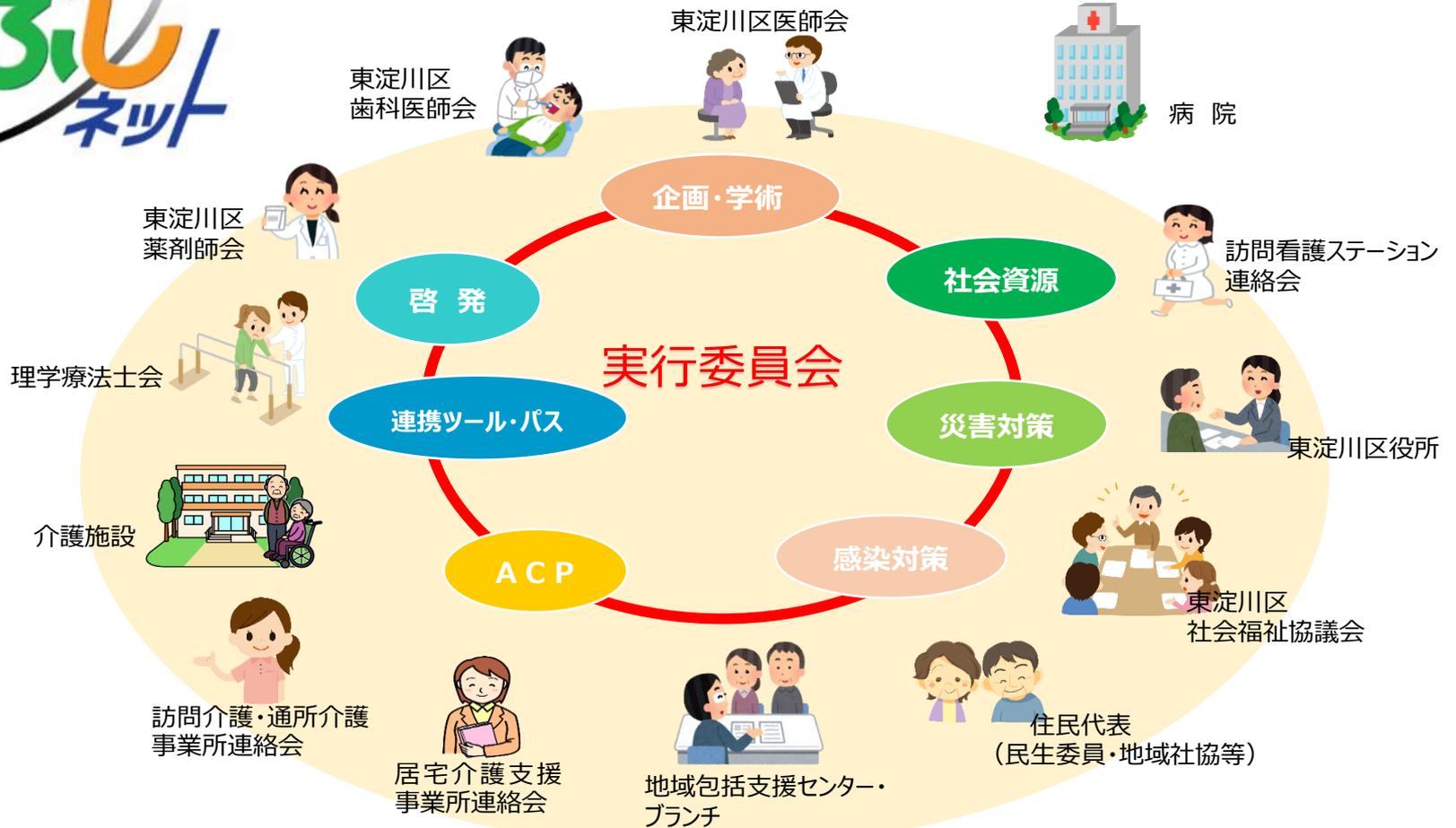
居宅介護支援事業所 84カ所

訪問介護 110カ所

介護老人福祉施設 11カ所

介護老人保健施設 4カ所

東淀川区の多職種連携



- ・ 東淀川区には「こぶしネット」という多職種連携の基盤がある。
しかし、訪問介護の実践者の参加は少ない。

介護事業所のサービス休止・撤退により 生活支援の必要な方へのサービス提供がストップした

- ・ 訪問介護連絡会の休止：情報が入らない 不安
横のつながりが希薄 孤独
- ・ 感染症に関する情報に振り回される：判断が難しい 知識不足
- ・ 感染予防対策（PPE等）の物品がない：支援困難
- ・ ヘルパーの高齢化：感染への恐怖



訪問看護ステーションがコロナ陽性者の自宅療養の生活を支えた

介護職へのサポート 何ができるのか？

令和3年度 介護職対象研修会 ①

東淀川区訪問介護事業者連絡会、東淀川区医師会在宅医療・介護連携相談支援室 合同介護職研修会

訪問看護師と一緒に学ぼう

～今回の研修会、PPE（個人防護具）の正しい着脱方法～

新型コロナウイルス感染症の感染予防対策をどの様にしたらいいのでしょうか。まずは、マスク・手袋・ガウンの正しい着脱方法について、訪問看護師が講義と実践でわかりやすくお伝えします。すでに実践されていると思いますが「もう一度学びたい」「これでいいのかな？」と思っている方はぜひご参加ください。

研修内容 1. 楽しく頭を使おう！ ・なぜ感染するの？
・何に注意をしたらいいの？
2. 楽しく体験しよう！ ・手袋、マスク、ガウンの正しい着脱方法

日時：第1回 令和3年6月16日（水）午後2時～3時

第2回 令和3年6月30日（水）午後2時～3時

※両日（第1回・第2回）とも同じ内容の研修会となります。

参加人数各5名（1施設1名、先着順）。

場所：東淀川区医師会館 3階講堂（豊新2-3-7 電話6320-2226）

講師：STY訪問看護ステーション 看護師 河田 聖子 氏

あなたのそばに、訪問看護師がいます。

いつでも相談できる環境を作っていきます。

参加費無料

FAX: 4862-6134

6月11(金)までにファックスでお申し込み下さい。

・第1回目参加 第2回目参加（どちらかに○をして下さい）

施設名： _____ 連絡先： _____

ご芳名： _____ 職種： _____

問い合わせ先：東淀川区医師会 在宅医療・介護連携相談支援室 ☎4862-6124

第1回 令和3年6月16日（木）14時

場所：医師会館 定員：5名

第2回 令和3年6月30日（木）14時

場所：医師会館 定員：5名

意見交換

- ・感染対策について、毎日不安を抱えながら利用者さん宅に行っている。
感染症について正しく学ぶ事ができた。
- ・ケアが終わったら急いで脱いでいた。脱ぐ時が一番大切であることが理解できた。
- ・他のサ責にも研修会に参加してほしい。
- ・短い時間だったけれど、他のサ責さんと話ができてよかった。
- ・同じような悩みを抱えている事を知り、一人じゃないと思えた。

PPE実践研修会

講師：訪問看護師



- ・南西部地域包括支援センター

令和4年3月10日（木）参加者11名

- ・北部地域包括支援センター

令和4年3月17日（木）参加者7名

- ・東淀川区地域包括支援センター

令和4年3月31日（木）14時参加者4名

- ・中部地域包括支援センター

令和4年3月31日（木）16時参加者6名

合計参加者数：28名

- ・サ責同士話ができ良かった。サ責全員が学ぶべきだと思います。
- ・もっと早くしてほしかったです。
- ・人手の少ない中、その場でPPE着脱方法を確認出来る状況ではありませんでした。研修等で平時に手順を実践的に学ぶ機会はとても重要であると思います。
- ・できれば映像もあればありがたいです。
- ・ケアが終わると急いでガウンを脱いでいました。あちこちとレッド部分を触っていました。

第3回「介護職対象研修会」(主催:東淀川区医師会)

訪問介護

におけるチームケアを考える

先着
30名

訪問介護サービスに求められていることがどんどん増えています。
認知症や看取りなどへの対応も必要になってきています。対応するためには多職種での連携
が必要であり、今回は、介護職における連携について考えたいと思います。

令和4年3月25日(金)

14:00~15:30

東淀川区医師会館 3階講堂
(豊新2-3-7 電話6320-2226)

講演

「介護職によるチームケアと多職種によるチームケア」

講師:SOMPOケア株式会社
西日本第一業務部 川島 啓彰

下記に記載頂き、FAXにて3月22日(火)までにお申し込みください。
第2回「介護職対象研修会」参加します。

FAX:06-4862-6134

事業所名: _____ 氏名: _____
氏名: _____

■申込・連絡先
東淀川区医師会 在宅医療・介護連携相談支援室 TEL:06-4862-6124
FAX:06-4862-6134

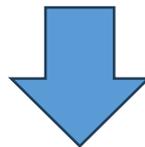


- ・ヘルパーとのことで悩んでいたのが今日は来てよかったです。
- ・多職種連携の大切さを改めて感じた。
- ・自分を見つめ直す機会になりました。
- ・情報交換・共有ができ、一人じゃないと思えた。
- ・多職種との連携も大切であるが、ヘルパーとの関わりや聞き取りなども必要だと思った。
- ・訪問介護の専門性を生かし連携することで、利用者の状態悪化等をふせぐことの重要性。
- ・また参加させて頂きたいと思います。

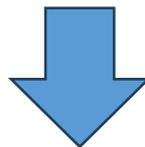
16名参加

令和3年度 介護職対象研修会 合計7回開催

- ・研修会終了後、とても良い表情で名刺交換をされていた。
- ・「また次回も宜しくお願いします」と帰られた方。
- ・一人じゃない！同じ立場の仲間がいることに気づいた方。
- ・介護の専門職として多職種連携が必要だと感じた方。等々



サ責5名と意見交換の場をもつ



「サ責の会」運営委員会立ち上げ

令和4年度 「サ責の会」 4回開催

主催：訪問介護事業所連絡会、東淀川区医師会在宅医療・介護連携相談支援室 協力：南西部地域包括支援センター

介護職対象研修会 「サ責の会」

サービス提供責任者（以下、サ責）の業務は多岐にわたっています。
コロナ禍でのサービス提供は、これまで以上に業務負担が大きかったのではないのでしょうか。
サ責同士、コロナ禍の現状を共有し今後の業務・連携について考えたいと思います。

日時 令和4年9月21日（水）17:00～18:00

場所 南西部地域包括支援センター
（東中島3-14-24 電話6326-4440）

演題 1. 「サ責に求められる役割と
リーダーシップについて」

そんばの家s淡路駅前 支配人 圓藤 香津子

2. 情報交換

下記に記載頂き、FAXにて9月19日（月）までにお申し込みください。

「介護職対象研修会・サ責の会」参加します。

FAX:06-4862-6134

事業所名: _____ 氏名: _____

氏名: _____

■申込・連絡先
東淀川区医師会 在宅医療・介護連携相談支援室

TEL:06-4862-6124
FAX:06-4862-6134

- ・第1回 令和4年9月21日（水）
南西部地域包括支援センター圏域 参加者10名
- ・第2回 令和4年10月19日（水）
東淀川区地域包括支援センター圏域 参加者13名
- ・第3回 令和4年12月21日（水）
中部地域包括支援センター圏域 参加者6名
- ・第4回 令和5年2月20日（月）
北部地域包括支援センター圏域 参加者9名



令和5年度 「サ責の会」 4回開催

- ・ 令和5年6月20日 「カスタマーハラスメント
～こんな要求 状況 どう対応する?～」

講 師：やさしい手訪問介護事業所

参加者：19名



- ・ 令和5年7月28日 「コロナ5類移行後の感染対策
～わたしたちにできること～」

講 師：西田医院

参加者：34名



- ・ 令和5年11月20日 「高齢者を災害から守るために
～わたしたちにできること～」

講 師：消防署 消防司令

参加者：29名



- ・ 令和6年1月30日 「お互いに理解し合える
コミュニケーション方法」

講 師：訪問看護ステーション デューン上新庄

参加者：15名



訪問介護と多職種連携の深化をめざして

- ・ 訪問介護事業所連絡会の再開と連携強化
- ・ 訪問介護員同士の顔の見える関係の構築
- ・ 訪問介護のスキルアップ
- ・ 介護の専門職としての発信力



ケアの質の向上、自立支援と重度化防止